

## 農山漁村女性・シニア活動表彰開催要領

### 1 目的

農山漁村における女性や高齢者といった地域の多様な人材は、農山漁村を支え、農山漁村生活の充実と地域経済の活性化に重要な役割を果たしており、農山漁村の6次産業化、食の安全・安心の観点からも、これらの活動が活発になるように支援していく必要がある。

このため、農林水産業及び農山漁村生活並びに農山漁村の活性化に優れた活動の実績をもち、男女共同参画の推進又はいきいきとした高齢者の活動の推進のために積極的に活動している経験豊富な女性・高齢者の個人又は団体を表彰することにより、女性や高齢者といった地域の多様な人材が農山漁村でいきいきと活躍できる環境づくりの推進に資するものとする。

### 2 主催団体等

主催：農山漁村男女共同参画推進協議会（以下、「協議会」という。）

後援：農林水産省、全国森林組合連合会、全国漁業協同組合連合会、全国農業協同組合中央会

協力：全国酪農青年女性会議

### 3 開催期日等

協議会会長は、毎年度別に定めるところにより、募集、表彰審査会及び表彰式を開催する。

### 4 表彰の種類

最優秀賞（農林水産大臣の賞状（女性地域社会参画部門、女性起業・経営参画部門、シニア起業・地域活性化部門、各部門2点合計6点））

優秀賞（農林水産省経営局長（女性地域社会参画部門、女性起業・経営参画部門、シニア起業・地域活性化部門、各部門3点合計9点）、林野庁長官（1点）、水産庁長官（1点）の賞状）

優良賞（全国森林組合連合会長（1点）、全国漁業協同組合連合会長（1点）、全国農業協同組合中央会長（1点））

### 5 参加個人又は団体の資格

次の参加部門のテーマに沿って積極的に活動している個人又は団体。

また、(1) から (3) のいずれかに応募するものとし、同じ内容のものを各部門と重複して応募することはできないものとする。

#### (1) 女性地域社会参画部門

農山漁村の女性を中心となった地域の農林水産業の振興及び農山漁村の活性化のための活動や、農林水産関係組織における活動等を積極的に実施している女性の個人又は団体。個人の場合、農林水産業に15年以上従事している女性を対象とする。

内容例

- ・ 農業委員や農協役員、審議会委員等、地域の方針決定の場における活動
- ・ 個人・グループの活動を通じて、地域の雇用の創出や耕作放棄地の解消等、地域の活性化に資する活動
- ・ 小学校等での農作業体験や伝統料理教室等による食農教育活動
- ・ その他、女性が地域社会参画に向けて取り組む諸活動

#### (2) 女性起業・経営参画部門

農山漁村の女性を中心となった地域資源を活用した起業活動や農業経営に積極的に参画している女性の個人又は団体。個人の場合、農林水産業に15年以上従事している女性を対象とする。

内容例

- ・ 他産業で培った経験による新たなアイデア等に基づき、売上げ等を飛躍的にのばしている起業活動
- ・ 家族経営協定の締結や認定農業者の共同申請等を通じた、経営者又は共同経営者としての積極的な経営参画活動
- ・ これまで女性が携わることの少なかった経営技術等を身につけるなどによる積極的な経営参画活動
- ・ その他、女性が起業・経営参画に向けて取り組む諸活動

#### (3) シニア起業・地域活性化部門

農山漁村の高齢者が中心となり、地域の農林水産業の振興及び農山漁村の活性化のための活動等を積極的に実施している高齢者の個人又は団体。

なお、高齢者の個人にあつては65歳以上、団体にあつては、構成員の半数以上が高齢者(65歳以上)であるものとする。

ただし、(1)(2)に該当するものは除く。

内容例

- ・ 高齢者の有する豊富な知識や経験を活かして取り組む起業や地域活動
- ・ 定年退職者のアイデアを活かしての新しい農林水産業をめざした活動

- ・農林水産業の担い手や女性の起業を支援する活動
- ・高齢者に対する農林水産業や農山漁村生活面での支援活動
- ・その他高齢者による起業、地域活性化に向けて取り組む諸活動

## 6 推薦の手続きとその内容

(1) 都道府県、市町村（都道府県経由で推薦）及び全国もしくは都道府県の農林水産関係団体（農業協同組合中央会、漁業協同組合連合会、森林組合連合会、農業会議等）は、各部門のテーマに即し、次の要件を参考に優秀と認められる個人又は団体を推薦する。

### ① 活動内容

ア 活動内容が、農林漁業・農山漁村生活の充実と開発を目指すものであり、また、農山漁村における男女共同参画又は高齢者活動の推進のため、具体的な課題や目標をもって活動し、その実績が顕著であること。

イ 実践されている課題や目標に関する技術が科学性、創造性、普遍性をもつものであること。

### ② 運営

活動が安定的に経過しており、かつ、その活動の成果が現れていること。

### ③ 波及効果・その他の効果

活動が継続的になされ、農林水産業及び地域の振興に寄与し、地域の先進的役割を果たし、かつ、波及効果を示す活動をしていること。

### ④ 今後の発展

活動の推移・現状から、今後もその活動が発展しうる可能性があること。

## (2) 推薦点数と推薦関係書類

都道府県、市町村（都道府県経由で推薦）及び全国もしくは都道府県の農林水産関係団体の代表者は、おおむね1～3点について、次の推薦関係書類を添えて協議会会長に提出する。

① 活動内容がわかる、個人又は団体構成員執筆による活動報告書

② 個人又は団体の概況資料

③ 経営概況を付した個人又は団体の名簿

④ 地域の概況

## 7 審査

協議会会長は、最優秀賞、優秀賞、優良賞の候補となる個人又は団体を決定するため、農林漁業・農山漁村における女性・高齢者の活動に知見を有する学識経験者等を審査会委員に依頼し、審査会を開催する。

審査会においては、推薦のあった個人又は団体について書類審査を行い、個人又は団体活動の模範として実績顕著なものを順位をつけて選出する。必要があれば、現地調査を行うことができるものとする。

## 8 その他

この開催要領に定めるもののほか、必要な事項については、協議会会長が別に定める。

## 平成25年度農山漁村女性・シニア活動表彰について（実施要領）

表彰の実施に関しては、「農山漁村女性・シニア活動表彰開催要領」によるものとしますが、推薦等の手続きについては次のとおり実施します。

### 1. 推薦関係書類の提出期限・提出先

#### (1) 提出期限

**平成25年8月16日（金）必着**

（募集告知日：平成25年6月17日）

#### (2) 提出先

農山漁村男女共同参画推進協議会（以下協議会という）事務局  
一般社団法人農山漁村女性・生活活動支援協会  
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-8 日本女子会館4階  
電 話 03-5777-5383 F A X 03-5777-5385

### 2. 推薦関係書類の内容

#### (1) 参加部門の内容

次の3部門の内容例を参考に、いずれかの部門を選択してください。

#### A. 女性地域社会参画部門

農山漁村の女性が中心となった地域の農林水産業の振興及び農山漁村の活性化のための活動や、農林水産関係組織における活動等を積極的に実施している女性の個人又は団体。個人の場合、農林水産業に15年以上従事している女性を対象とする。

内容例

- ・農業委員や農協役員、審議会委員等、地域の方針決定の場における活動
- ・個人・グループの活動を通じて、地域の雇用の創出や耕作放棄地の解消等、地域の活性化に資する活動
- ・小学校等での農作業体験や伝統料理教室等による食農教育活動
- ・その他、女性が地域社会参画に向けて取り組む諸活動

#### B. 女性起業・経営参画部門

農山漁村の女性が中心となった地域資源を活用した起業活動や農業経営に積極的に参画している女性の個人又は団体。個人の場合、農林水産業に15年以上従事している女性を対象とする。

内容例

- ・他産業で培った経験による新たなアイデア等に基づき、売上げ等を飛躍的にのばしている起業活動
- ・家族経営協定の締結や認定農業者の共同申請等を通じた、経営者又は共同経営者としての積極的な経営参画活動

- ・これまで女性が携わることの少なかった経営技術等を身につけるなどによる積極的な経営参画活動
- ・その他、女性が起業・経営参画に向けて取り組む諸活動

### C. シニア起業・地域活性化部門

農山漁村の高齢者が中心となり、地域の農林水産業の振興及び農山漁村の活性化のための活動等を積極的に実施している高齢者の個人又は団体。

なお、高齢者の個人にあつては65歳以上、団体にあつては、構成員の半数以上が高齢者（65歳以上）であるものとする。ただし、A. B. に該当するものは除く。

内容例

- ・高齢者の有する豊富な知識や経験を活かして取り組む起業や地域活動
- ・定年退職者のアイデアを活かしての新しい農林水産業をめざした活動
- ・農林水産業の担い手や女性の起業を支援する活動
- ・高齢者に対する農林水産業や農山漁村生活面での支援活動
- ・その他高齢者による起業、地域活性化に向けて取り組む諸活動

## 3. 協議会への推薦までの手続き

### (1) 市町村長等（※）から推薦する場合

市町村長等からの推薦については、市町村長等から都道府県へ推薦していただいた後、都道府県での了知確認を経て、協議会に推薦していただきます。

（※）「市町村長等」には、市町村長、都道府県地方振興事務所長（農林事務所長、林業事務所長等）、地域農業普及指導センター所長、水産業改良普及所長、JA組合長、森林組合長、漁業協同組合長、農業委員会の長等を想定しています。

①市町村長等から都道府県への推薦には、（別紙様式4）「市町村長等からの推薦理由書」を作成し、市町村長と都道府県の組織の長は、都道府県の女性・高齢者担当課等へ、その他のJA組合長、森林組合長、漁業協同組合長、農業委員会の長等は、各団体の都道府県組織へ提出してください。

②市町村長等から推薦のあった候補について、都道府県の女性・高齢者担当課等または各団体の都道府県組織で了知確認を行ったのち、（別紙様式4）に加えて、規定の提出書類（4. 「提出書類の種類」参照）を協議会に提出してください。

(2) 都道府県、全国もしくは都道府県の農林水産関係団体（農業協同組合中央会、漁業協同組合連合会、森林組合連合会、農業会議等）からは、直接推薦をすることができます。その場合は、（別紙様式4）を除く規定の提出書類（「4. 提出書類の種類」参照）を協議会に提出してください。

## 4. 提出書類の種類

【当該個人または団体が作成するもの】

### ①個人または団体構成員執筆による活動報告書

- ・選択した参加部門の活動内容について、できるだけ数値（例えば活動に取り組んだ前後の変化など）を用いて活動報告書に具体性、客観性をもたせてまとめたもの。
- ・上部に参加部門A・B・Cを明記し、タイトルをつける。
- ・A4版の用紙縦長、横書きにパソコンで作成、4,000字以内（厳守）

(活動報告書の一例)

ア. 地域の概況、個人の活動または集団結成の動機

イ. 今日に至る活動の経緯とその特徴

ウ. 現在取り組んでいる課題の背景や問題意識、障害の克服など

エ. 生活・営農上に及ぼした効果など

オ. 地域への貢献、その波及効果

カ. 今後の課題、5年間程度の具体的な活動予定について

②個人または団体の概況資料(別紙様式1または別紙様式1')

(添付No. 1または1', 2, 3, 4)

③経営概況を付した団体の構成員名簿(別紙様式2-1・2)(添付No. 5, 6)→団体のみ

④地域の概況(別紙様式3)(添付No. 7)

⑤その他の参考資料(添付11)

必要最小限とし、返却を必要とする貴重な資料等は含めない。(厳守)

【推薦者等が作成するもの】

①市町村長等による推薦理由書(別紙様式4)(添付No. 8)\*公印省略可

→市町村長等からの推薦する場合のみ

②都道府県知事、または全国団体の長、または都道府県農林漁業関係団体の長による推薦理由書(別紙様式5)(添付No. 9)

\*公印省略可

\*別紙様式5は、別紙様式4の有無にかかわらず必ず提出すること。

③地方公共団体・農林漁業関係団体等は当該個人または集団に対しておこなった支援内容等(別紙様式6)(添付No. 10)

(注1)提出資料はA4判サイズとし、正1部、副4部、計5部を作成し、活動報告書に添付資料No. 1~No. 11の順にそろえ、1部ずつ一括左肩隅を綴じて提出してください。

(注2)都道府県、または全国団体、または都道府県農林漁業関係団体は、推薦様式の内、次の提出書類は**CD—RW 1枚に収録**し、関係書類と一緒に提出してください。

◆ ・活動報告書 ・別紙1~6

提出CDの表面には、部門名、都道府県名、または団体名を明記してください。複数の応募がある場合は1枚のCDへの収録で結構です。CDは原則として返却しませんのでご了承ください。

5. 表彰個人または団体の発表

表彰個人または団体が決定次第、都道府県、団体等に通知します。

6. 表彰式

平成26年3月6日(木)(予定)

7. 農林水産祭参加

平成25年度農山漁村女性・シニア表彰は、平成26年度の農林水産祭参加行事として申請する予定です。

8. その他

(1)推薦する個人・団体は本年度内に全国規模のコンクール、表彰事業等へ未参加であるこ

と、および本年度内に全国規模の褒章、叙勲等の栄典を授与されていないこととします。

(2) 表彰式参加のための往復の交通費、宿泊費については、誠に恐縮ながら、各自のご負担でのご参加をお願い申し上げます。ご参加いただけない場合は、後日賞状をお送りさせていただきます。

ただし、農林水産大臣賞受賞者の6名の方（各部門2名×3部門）につきましては、活動内容を表彰式当日にご発表いただくこととしております。そのため、往復の交通費、宿泊費（1泊）については、当協議会で負担いたします。

\*個人情報の取り扱いに関しましては、当協会の規定に従い、安全に保護・管理することに努め、目的（表彰事業に関わる審査・事務処理、表彰資料集への掲載）以外には使用いたしません。

担当：農山漁村男女共同参画推進協議会事務局

一般社団法人農山漁村女性・生活活動支援協会／森 真理子

電話：03-5777-5383 F A X：03-5777-5385 メール [mori@weli.or.jp](mailto:mori@weli.or.jp)

\*ご要望により応募様式をメールにて送信します。表彰の名称を明記の上、メールにてご請求ください。

様式請求先：[mori@weli.or.jp](mailto:mori@weli.or.jp)（森）



(別紙様式 1)

&lt;団体推薦用&gt;

## 団体の概況

都道府県・市町村名 ( )

1. 申請部門	(○で囲む) A. 女性地域社会参画部門                      B. 女性起業・経営参画部門 C. シニア起業・地域活性化部門		
2. 団体の名称	ふりがな .....		
3. 団体の代表者名	ふりがな .....		
4. 団体の代表者住所	ふりがな 〒.....		
5. 団体構成員現在数	人	6. 構成員全体の平均年齢 (小数点第1位まで)	( . 歳)
7. 構成員の男女比	男性                      : 女性		
8. 団体結成の年月	年      月      日	9. 活動継続年数 (      年      ヶ月)	
10. 団体結成の経緯			
11. 年間集会回数	回	12. 集会への構成員出席率	%
13. 活動記録およびその 他の保存書類等の主な 内容	団体の活動記録簿		有      無                      年      月より
	その他の保存書類		
14. 団体の規約または それに準じるもの	有      無	規約・規則等有る場合は添付する。(添付No. 2)	
15. 団体の歴年活動実 績表	簡潔に作成したものを添付する。(添付No. 3)		
16. 活動(経営)収支計 算書 またはそれに準ずるもの	有      無	・有る場合は添付する。(添付No. 4) (B部門は必須。起業経営、農林漁業経営の現状がわかる過去3 年間の、法人は決算書、任意組織は総会資料を添付)	
17. 高齢者(65歳以上)の割合 (C. シニア起業・地域活性化部門のみ)			%

## 経営概況を付した集団の構成員名簿 (1) ※1

集団名 ( )

番号	集団における現在の役割	(ふりがな) 氏 名	年 齢	家 族 人 数	本人の農業経営上の立場		家族経営協定締結の有無	指導的資格の状況 ※4	認定農業者であるかどうか (○印)	
					※2	※3				
1					主	同	従	有	無	
2					主	同	従	有	無	
3					主	同	従	有	無	
4					主	同	従	有	無	
5					主	同	従	有	無	
6					主	同	従	有	無	
7					主	同	従	有	無	
8					主	同	従	有	無	
9					主	同	従	有	無	
10					主	同	従	有	無	
11					主	同	従	有	無	
12					主	同	従	有	無	
13					主	同	従	有	無	
14					主	同	従	有	無	
15					主	同	従	有	無	
計		集団員数 ( ) 人 ※5 若( )人 中( )人 高( )人	平 均 年 齢 ( ) 歳	平均家 族 数 ( ) 人	主 同 従 人 人 人 ( ) ( ) ( )	( )	有 ( ) 人 無 ( ) 人		認定農 業者 ( ) 人	

※1 構成員数が15名を越し記入が困難な場合は、役割代表者等のみの記入でも可。  
別紙様式 2-2 も同じ。

※2 「主」は主たる担い手、「同」は夫と同じ立場、「従」は従の立場を示します。  
該当する立場を○で囲んでください。

※3 農林漁業の経営主の場合は、経営主と記入してください。

※4 農協役員、農業委員、指導農業者などの資格があれば記入してください。

※5 若(35歳未満)、中(35～65歳未満)、高(65歳以上)とします。

## 経営概況を付した集団の構成員名簿 (2)

集団名 ( )

番号	主業・準主業・副業的農家の区別 ※1			主たる生産経営概況 (主たる経営部門を○で囲み、その経営規模・主たる産物名を記入) ※2		生活関係・農林漁業経営記録の有無 (○印)		農地の所有状況 ※3
	主	準	副			生活	経営	
1	主	準	副	農産、園芸、畜産 蚕糸、特産、林産、水産		生活	経営	
2	主	準	副	農産、園芸、畜産 蚕糸、特産、林産、水産		生活	経営	
3	主	準	副	農産、園芸、畜産 蚕糸、特産、林産、水産		生活	経営	
4	主	準	副	農産、園芸、畜産 蚕糸、特産、林産、水産		生活	経営	
5	主	準	副	農産、園芸、畜産 蚕糸、特産、林産、水産		生活	経営	
6	主	準	副	農産、園芸、畜産 蚕糸、特産、林産、水産		生活	経営	
7	主	準	副	農産、園芸、畜産 蚕糸、特産、林産、水産		生活	経営	
8	主	準	副	農産、園芸、畜産 蚕糸、特産、林産、水産		生活	経営	
9	主	準	副	農産、園芸、畜産 蚕糸、特産、林産、水産		生活	経営	
10	主	準	副	農産、園芸、畜産 蚕糸、特産、林産、水産		生活	経営	
11	主	準	副	農産、園芸、畜産 蚕糸、特産、林産、水産		生活	経営	
12	主	準	副	農産、園芸、畜産 蚕糸、特産、林産、水産		生活	経営	
13	主	準	副	農産、園芸、畜産 蚕糸、特産、林産、水産		生活	経営	
14	主	準	副	農産、園芸、畜産 蚕糸、特産、林産、水産		生活	経営	
15	主	準	副	農産、園芸、畜産 蚕糸、特産、林産、水産		生活	経営	
計	主	準	副	農産、園芸、畜産 蚕糸、特産、林産、水産		生活	経営	
	人 ( )	人 ( )	人 ( )	農産(人)園芸(人) 畜産(人) 蚕糸・特産(人) 林産(人)水産(人)	主たる産物名順位：粗生産額又は水揚高金額による 1位( ) 2位( ) 3位( ) 4位( ) 5位( ) 6位( )	生活( )人 経営( )人		本人名義 の農地所 有者( ) 人

※1 「主業」とは農業所得が主で、1年間に60日以上農業に従事している65歳未満の者がいる農家、「準主業」とは農外所得が主で、1年間に60日以上農業に従事している65歳未満の者がいる農家、「副業的」とは主業農家及び準主業農家以外の農家を示します。

※2 農産、園芸、蚕糸・特産、林産にあっては耕地面積をヘクタール又はアール単位で、畜産にあっては飼育頭羽数を、水産にあっては平年水揚高の金額を記入。

※3 本人名義の農地が有る場合はその面積をヘクタールまたはアール単位で記入してください。

## (別紙様式3)

## 地域の概況

市町村名・地区名		集落数			集落		
地域の特性 (該当する地域に○をし、農家世帯数の概況割合を記入)		1. 都市的地域 ( ) 2. 平地農業地域 ( ) 3. 中間農業地域 ( ) 4. 山間農業地域 ( )					
農林漁業の概要	市町村世帯数	農林漁家を100とする 主業・準主業・副業的経営別構成 (%) ※			地域の農林漁業生産物販売額順		
	総世帯数	うち農林漁家数	主業 %	準主業 %	副業的 %	第1位	第2位
1. 当該地域における農林漁業の説明 (自然的及び社会経済的条件について、上記の事項をふまえ、特記すべき事項を説明して下さい。)							
2. 【A. B部門】当該地域における女性の地域参画、女性起業、あるいは女性の経営参画に関する取り組みを行っている他の主要団体、組織の動向について、簡潔に説明してください。 【C部門】地域の高齢化及び高齢化対策の概要 (高齢化率%)							
3. 当該地域における以下の項目についての全体に占める割合							
		認定農業者に占める女性の認定農業者の割合	(		)	%	
		全農家数に占める家族経営協定の締結農家の割合	(		)	%	
		農協役員全体に占める女性の割合	(		)	%	
		農業委員全体に占める女性の割合	(		)	%	
		指導農業士全体に占める女性の割合	(		)	%	

- ・団体構成員および個人が主に活動している地域(市町村または大字単位の地区等)について記入して下さい。  
 ※主業・準主業・副業的別の中には、農業のみならず、林業、漁業も含む。半農半漁の場合は農業を主体にみる。

## (別紙様式 4)

## 市町村長等による推薦理由書

※市町村長等が個人・または団体を推薦する場合はこの様式に推薦理由を記載し、市町村長と都道府県の組織の長は、都道府県の女性・高齢者担当課等へ、その他のJA組合長、森林組合長、漁業協同組合長、農業委員会の長等は、各団体の都道府県組織へ提出をお願いします。

被推薦者・個人または団体名 ( )

--	--

推薦機関名	推薦者氏名  推薦者役職
印省略	

(\*) 「市町村長等」には、市町村長、都道府県地方振興事務所長（農林事務所長、林業事務所長等）、地域農業普及指導センター所長、水産業改良普及所長、JA組合長、森林組合長、漁業協同組合長、農業委員会の長等を想定しています。



## (別紙様式6)

地方公共団体・農林漁業関係団体等が当該個人または集団に対して行った支援内容等

個人または集団名 ( )

## 1. 集団を支援している地方公共団体・農林漁業関係団体等

地方公共団体・ 農林漁業関係団体等	
----------------------	--

## 2. 年代別支援内容

年 代	支 援 内 容

## 個人の概況

都道府県・市町村名 ( )

1. 申請部門	(○で囲む) A. 女性地域社会参画部門 B. 女性起業・経営参画部門 C. シニア起業・地域活性化部門		
2. 氏名	ふりがな	年齢	歳 (平成25年3月31日現在)
		家族人数	人
3. 住所	ふりがな 〒		
4. 活動開始の年月	年 月 (年ヶ月)	5. 年間活動日数	日
6. 活動開始の動機や経緯			
7. 活動記録及びその他の保存書類等の主な内容	活動記録 (○印)	有 無	年 月より
	その他の書類等		
8. 活動に関わる規約はそれに準じるもの	有 無	ある場合は添付する (添付No. 2)	
9. 年代別年間活動実績表	簡潔に作成したものを添付する。 (添付No. 3)		
10. 家族経営協定締結の有無	有 (年締結) 無	11. 指導的資格の状況	(※1)
12. 認定農業者であるかどうか (本人)	認定あり 認定なし	13. 経営にかかる収支決算書の有無	有 無 ある場合は添付する (添付No. 4) (B部門は必須。起業経営、農林漁業経営の現状がわかる、過去3年間の決算書を添付)

※1 農協役員、農業委員、指導農業士などの資格があれば記入してください。

## 農林漁業経営概況

本人の農林漁業経営上の立場 (○印)	(※2) 主 同 従			(※3)	本人所有の農地の状況	有 (※4) 無 ( )
主業・準主業・副業的農家の区別 (○印) (※5)	主	準	副	生活関係・農林漁業経営記録の有無 (○印)	生活	経営
主たる生産経営概況 (○印)	農産、園芸、畜産、蚕糸・特産、林産、水産			経営規模・主たる産物名 (※6)		

※2 「主」は主たる担い手、「同」は夫と同じ立場、「従」は従の立場を示します。該当する立場を○で囲んでください。

※3 農林漁業の経営主の場合は、「経営主」と記入してください。

※4 本人名義の農地が有る場合はその面積をヘクタールまたはアール単位で記入してください。

※5 「主業」とは農業所得が主で、1年間に60日以上農業に従事している65歳未満の者がいる農家、「準主業」とは農外所得が主で、1年間に60日以上農業に従事している65歳未満の者がいる農家、「副業的」とは主業農家及び準主業農家以外の農家を示します。

※6 農産、園芸、蚕糸、特産、林産にあつては耕地面積をヘクタール又はアール単位で、畜産にあつては飼育頭羽数を、水産にあつては平年水揚げの金額を記入してください。